



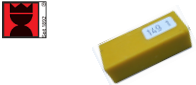

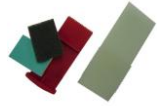

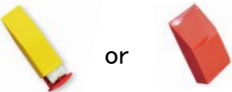


スティック充填材一覧表

商品名	特徴	主成分	軟化点 融点	色数	作業手順	
					充填	面出し
 <p>バーンスティック</p>	スティックタイプ充填材の中で最高の硬度を持つため、強度が求められる場所の補修におすすめです。ただ柔軟性に欠けているため、瞬間的な衝撃がかかると割れることがあります。	エポキシ樹脂	軟化点 60～65度 融点 80～87度	35色	 or 	 or  + 
 <p>プレインスティック</p>	適度な柔軟性と硬度を兼ね備えた充填材です。柔軟性があるため、木材への追従性・密着性も高く、スプレーとの相性も抜群です。	合成樹脂	軟化点 82～93度 融点 102～110度	44色	 or 	 or  + 
 <p>パッチャルペンシル</p>	非常に柔らかくコテを必要としないため、作業性が良いです。 (2色を混ぜる場合は溶かす必要があります) ごく小さなキズの簡易補修におすすめです。	パラフィン油脂	軟化点 48度 融点 82～93度	80色	不要	 or 
 <p>フィルスティック</p>	非常に柔らかくコテを必要としないため、作業性が良いです。 (2色を混ぜる場合は溶かす必要があります) ごく小さなキズの簡易補修におすすめです。	パラフィン油脂	軟化点 48度 融点 82～93度	127色	不要	 or 
 <p>ハードワックス</p>	リペア業界の中で最も主流な充填材です。 コテで溶かすと水のように溶け、充填しながらの色混ぜが容易に行え、効率的です。	パラフィン油脂	軟化点 76度 融点 81度	103色	 or 	 or 
 <p>ハードワックスプラス</p>	ハードワックスより硬度・融点が高く、特に温度変化のある窓枠や床などの充填作業にお奨めです。 床暖房対応商品です。	パラフィン油脂	軟化点 105～110度 融点 115～120度	57色	 or 	 or 
 <p>ソフトワックス</p>	非常に柔らかくコテを必要としないため、作業性が良いです。 また 2色を混ぜる場合、指で練って混ぜることができます。一般のクレヨン系充填材よりも柔軟性・密着性に優れています。	パラフィン油脂	軟化点 66度 融点 74度	57色	不要	 or 

<p>セラミックフィラー</p> 	<p>融点 130 度と高く、硬度も高いので、石材やセラミックタイル、窯業系サイディングのえぐれキズやフィニッシュ穴を補修するのに適しています。</p>	<p>パラフィン油脂</p>	<p>融点 130℃</p>	<p>20 色</p>		
<p>高隠蔽ハードフィル</p>	<p>顔料比率を高め隠蔽力に優れた木部用充填材です。下地の色を拾いづらいため、作業が効率的になります。ハードワックスと混ぜ合わせて使用可能です。</p>	<p>パラフィン油脂</p>	<p>融点 79℃</p>	<p>2</p>	 <p>or</p>	 <p>or</p>

更新日:2017年3月9日